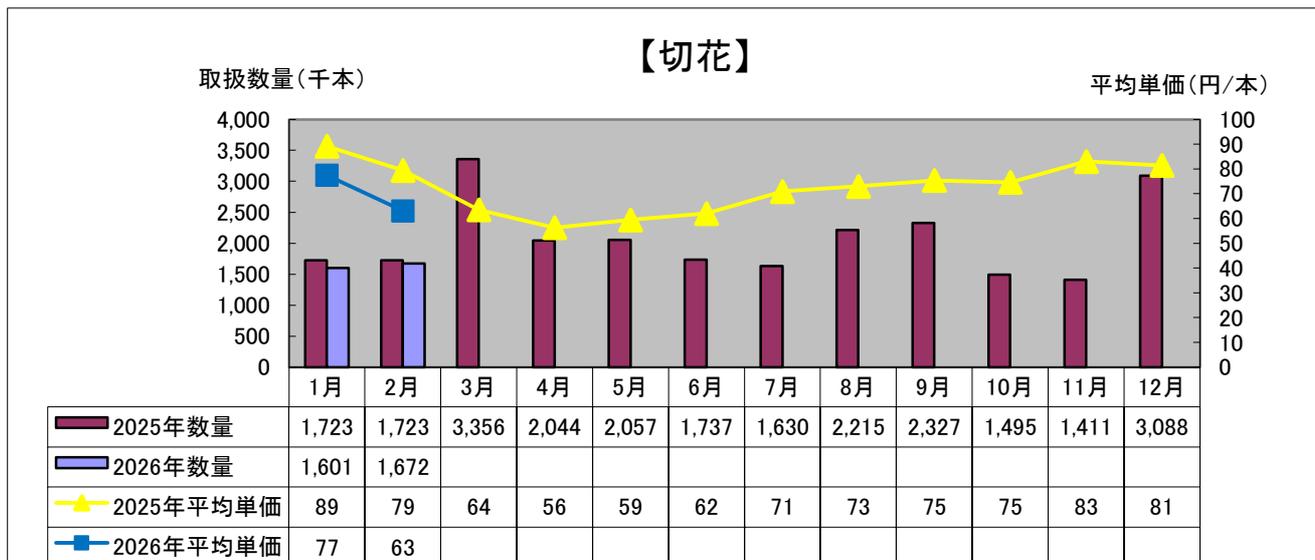
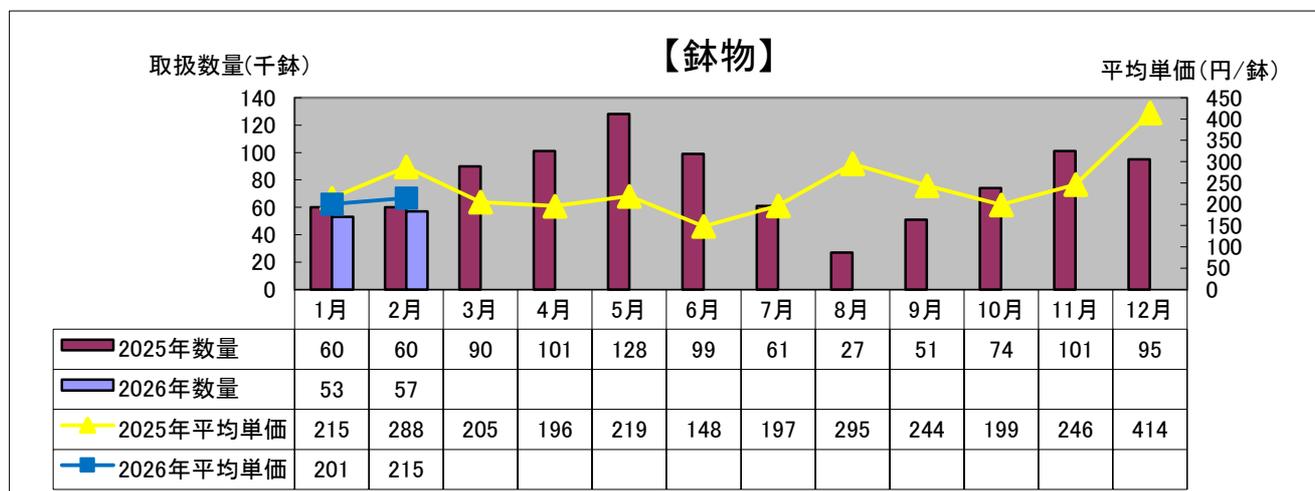


令和8年(2026年)2月 花き部 種類別市況



下旬から桃の節句の需要が伸びたが、それ以外は各品目売れ行きが伸び悩みました。数量はやや減少、平均単価はかなり安く推移しました。

前年比数量 97%、平均単価 79%で終了しました。



月を通して全体的に売れ行きは伸び悩みました。特に花苗は気温が低かったため、生育や需要が弱く、出回りが少ない状況でした。一方、観葉植物などの鉢物は入荷量が少なかったため、価格や取引状況は安定して推移しました。数量はやや減少、平均単価はかなり安く推移しました。

前年比数量 95%、平均単価 75%で終了しました。